



地方議員年金は破綻しています！

(地方議会議員年金制度に関する研究会資料・市議会議員共済会＋町村議会共済会収支の推移より)

年 度	収入(単位 100 万円)				支出(単位 100 万円)				差額 (一致しない 場合がある)	年度末 積立金
	掛け金	負担金 (税金)	運用益等	合計	退職 年金	遺族 年金	一時金	合計		
10	249 億57	202 億02	52 億58	504 億17	398 億30	100 億30	19 億06	517 億66	△13 億49	1913 億03
19	272 億60	242 億88	8 億78	524 億26	510 億02	142 億14	56 億08	708 億23	△183 億98	510 億18

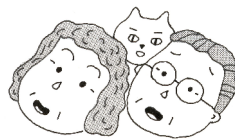
● 地方議員は地方公務員共済組合法で「都道府県・市・町村・議員共済会」に強制加入します。議員報酬から掛け金を支払い、市町村は負担金を支払います。規則で年金か一時金が交付されます。遺族年金・遺族退職金もあり他の年金より優遇されています。

● 上の表でわかるように、市町村議員年金は、H19年度収入額は524億2600万円で、支出額が708億2300万円です。183億9800万円も不足し、積立金を取り崩しています。H23年度には積立金もなくなり、破綻します。

● 町村議員退職一時金(3年以上12年未満の人)は、議員の掛け金の49%~64%が給付されます。遺族一時金は議員の退職一時金と同額です。

● 議員年金(12年以上の人)は、退職して65才になってから退職前標準報酬額×(35/150+0.7/150×在職年数-12)が、支給されます。遺族年金はその金額の半額になります。

● 町村議員の掛金は議員報酬の16%、町村の負担金は議員報酬の12%。



平成20年度の私の場合は、月額報酬は22万4000円です。掛金は1年間51万3000円、嵐山町負担金は43万5600円でした。嵐山町議会全員の掛金は724万1775円、町負担金は609万8400円でした。

● 平成19年度全町村議員数は13677人です。退職金及び年金受給者数は31008人です。議員一人分の掛け金と町村負担金で2.5人分の年金・退職金不足分に、積立金を取り崩して補っていました。

● このように破綻しています。それでも各地方議会から、議員年金存続の要望があり、存続の方向で研究会が設置されています。

● 議員活動には一定の生活保障も必要です。・・・が、破綻している議員年金を存続させるのは、国・都道府県・市町村の税金がもっと多く使われます。早い段階で廃止して、年金一元化を進めて、公平な年金制度を構築するほうがよいと思います。

議員有志による
平成20年度決算説明会
(金丸友章・河井勝久・川口浩史・渋谷登美子)

日時 11月21日(土)
午後1時~4時
場所 勤労福祉会館

皆さんの参加を
お待ちしております。



トーク嵐山第6回
テーマ

「遊休農地の活用」

遊休農地をどのように活用していくと、農業の未来がみえてくるのでしょうか。

日時 12月12日(土)
2:00~4:00PM

場所 生き生きふれあい
プラザ「なごみ」

講師 水島晴夫産業振興
課長